

ワイビア® wivia 5

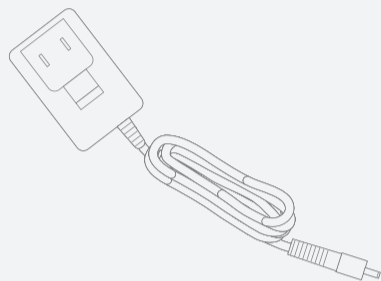
クイックマニュアル

4-850-0505 WV-51

本書には wivia の基本的な使い方が記載されています。ご使用前に裏面の使用上のご注意をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
本書に掲載の画面は実際の画面と異なることがあります。また、バージョンアップにより仕様を変更することがあります。
wivia は株式会社内田洋行の登録商標です。本書に記載の他社製品名は一般に各社の商標または登録商標です。本書では™、®などは記載していません。

1. 箱に入っているもの

- ・ wivia 5 WV-51 本体
- ・ AC アダプター
- ・ 壁面取付用ブラケット
- ・ クイックマニュアル (本書)
- ・ 保証書



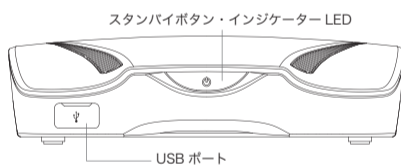
2. ダウンロードできるもの

- ・ Windows 用アプリケーション
- ・ Mac 用アプリケーション
- ・ Mac 用 Syphon virtual screen ドライバー (拡張画面投影を行う場合にインストールしてください)
- ・ iPhone、iPad 用アプリケーション (App Store)
- ・ Android 用アプリケーション (Google Play)
- ・ 取扱説明書
- ・ 各種サポート情報

3. 各部の名称

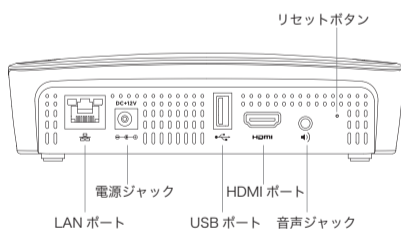
・ 前面

| | |
|------------|---------------------------------------|
| スタンバイボタン | ボタンを押すとスタンバイ状態になります。 |
| インジケータ LED | システム起動中：赤 使用可能：青 |
| USB ポート | 操作機器や記憶媒体を接続できます。 (USB 2.0 ホストポート) |



・ 背面

| | |
|----------|--|
| HDMI ポート | 表示装置に映像・音声を出力します。 (HDMI 1.4b タイプ A) |
| USB ポート | 操作機器や記憶媒体を接続できます。 (USB 2.0 ホストポート) |
| LAN ポート | ネットワークケーブルを接続できます。 (RJ-45 コネクター、PoE 受信対応) |
| 音声ジャック | 音響機器に接続できます。 (3.5mm ステレオミニ、アナログ出力) |
| 電源ジャック | AC アダプターを接続します。(DC 12V 2A) |
| リセットボタン | インジケータ LED が赤色に点滅するまで押さえ続けると、出荷時の設定に戻ります。 |



*USB ポートの電源出力は DC5V 最大 0.5A です。

wivia サポート Web サイト

詳しい機能や設定方法が記載された取扱説明書、最新版のアプリケーションや本体ファームウェア、各種サポート情報などが掲載されています。定期的に確認してください。

<http://www.uchida.co.jp/wivia/>

wivia ヘルプデスク

本書や取扱説明書、サポート Web サイトの情報で問題が解決しない場合は、下記の wivia ヘルプデスクまでご相談ください。
サポートを円滑に行うため、お問い合わせ前に以下の情報をご用意ください。

- ・ wivia のモデル名とシリアル番号
- ・ お使いの PC の機種名、OS、ネットワーク環境
- ・ ご質問内容
- ・ お使いの wivia のファームウェア、アプリケーションのバージョン

電話によるお問い合わせ : 0120-550-956
携帯電話によるお問い合わせ : 047-700-8245 (通話料がかかります)
受付時間 : 平日 (月～金) 9 時～17 時 (弊社休業日を除く)
Eメールによるお問い合わせ : wivia-help@esco.co.jp

4. 必要なもの

- ・ 表示装置 (ディスプレイ、プロジェクターなど)
- ・ HDMI ケーブル (表示装置によっては変換コネクターなどが必要です)
- ・ 端末 (Windows、Mac、iPhone、iPad、Android のいずれか)
- ・ 音響機器 (任意) (スピーカー、アンプなど)
- ・ 音声ケーブル (任意)
- ・ 操作機器、記憶媒体 (任意) (マウス、タッチパネルなど)
- ・ USB ケーブル (任意) (操作機器との接続に必要な場合)

5. wivia 本体を設置する

- 1) wivia 本体と表示装置を HDMI ケーブルで接続し、表示装置の電源を入れます。
- 2) 付属の AC アダプターを wivia 本体に接続するとインジケータ LED が赤色に点灯します。システムの準備が完了すると、インジケータ LED が青色に点灯します。
- 3) 必要に応じて、音響機器、操作機器、記憶媒体を wivia 本体に接続します。
- 4) 必要に応じて、マウスやタッチパネルなどの USB 操作機器を wivia に接続します。

6. 端末を Wi-Fi に接続する

端末の Wi-Fi を有効にし、wivia の Wi-Fi に接続します。
wivia の Wi-Fi 名は、表示装置の待機画面に表示されます。

出荷時の Wi-Fi 名は、wivia-**** (**** は wivia の底面ラベルに印字されている MAC アドレスの末尾 4 桁) です。

なお、wivia が既存のネットワークに接続されている場合は、管理者の方に使用方法をご確認ください。



Windows



Mac

7. アプリケーションをダウンロードする

- 1) Web ブラウザーを起動し、アドレスバーに wivia の IP アドレスまたは機器名を入力します。

出荷時の IP アドレスは 192.168.100.10、機器名は wivia-**** (**** は wivia の底面ラベルに印字されている MAC アドレスの末尾 4 桁) です。

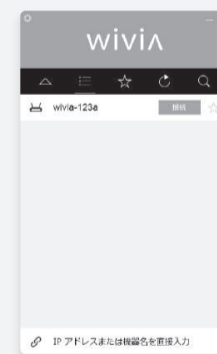
- 2) Download または Download を押してアプリケーションをダウンロードします。

アプリケーションのすべての機能を使用するには、「インストーラーをダウンロード」からアプリケーションをインストールしてください。



8. アプリケーションを起動する

- 1) ダウンロードまたはインストールしたアプリケーションを起動すると、右図の画面が表示されます。



- 2) アプリケーションが wivia を自動検出した場合は、パスコードの入力画面が表示されます。自動検出されなかった場合は、 を押すか、IP アドレス / 機器名を入力して wivia を検出してください。画面に表示されているパスコードを入力してください。

- 3) を押します。

パスコードの入力画面が表示された場合は、表示装置の待機画面に表示されるパスコードを入力します。



- 4) を押すと、端末の画面が wivia に投影されます。



- 5) を押すと、投影を停止します。















使用上のご注意



本製品のご使用上の注意






ご使用前にこの「使用上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。




本製品のご使用に際して、本章に記載の警告および注意をご覧になり、必ずお守りください。これらの事項が守られない場合、「感電」「火災」「故障」などが発生する可能性があり、本製品の利用者が負傷されたり死亡につながる恐れがあります。また、万一「発火」「発煙」「溶解」などが発生した場合には、速やかに本製品の使用を中止してください。



| | |
|---|---|
|  | 警告 この表示は、取扱いを誤った場合、「死亡または重傷を負う可能性が想定される」内容です。 |
|  | 注意 この表示は、取扱いを誤った場合、「傷害を負う可能性が想定される場合および物的損害のみの発生が想定される」内容です。 |
|  | 禁止 （してはいけないこと）を示します。 |
|  | 指示 に基づく行為の強制（必ず実行していただくこと）を示します。 |






| | |
|---|---|
| ■　設置および保管に関して | |
|  | 警告 |
|  | ・ 定格外の電源を使用しないでください 定格範囲外の電源に接続することで、感電、火災などの発生、または製品の誤作動、故障などの原因となる恐れがあります。 |
|  | ・ 動作環境範囲外で本製品を使用しないでください 範囲外の温度や湿度の環境でご利用になることで、感電、火災などの発生、または製品の誤作動、故障などの原因となる恐れがあります。 |
|  | ・ 直射日光のあたる場所や暖房器具の近くで本製品を使用しないでください 本製品が過熱することで、感電、火災などの発生、または製品の誤作動、故障などの原因となる恐れがあります。 |
|  | ・ 本製品の近くに液体が入った容器を置かないでください 本製品に液体がこぼれることで、感電、火災などの発生、または製品の誤作動、故障などの原因となる恐れがあります。 |
|  | ・ 温度変化の激しい場所で本製品を使用しないでください 本製品が加熱することで、感電、火災などの発生、または製品の誤作動、故障などの原因となる恐れがあります。動作範囲内の温度であっても温度変化が激しい場所でご利用することで、結露などが原因で感電、火災などの発生、または製品の誤作動、故障などの原因となる恐れがあります。 |
|  | ・ 本製品を分解、改造しないでください 本製品を分解または改造することで、感電、火災などの発生、または製品の誤作動、故障などの原因となる恐れがあります。また改造は法律で禁止されています。 |
|  | ・ 表示装置の取り付け口に異物などが混入しているときは取り除いてください 表示装置の取り付け口に異物が混入した状態で本製品を取り付けることで、感電、火災などの発生、または製品の誤作動、故障などの原因となる恐れがあります。 |

| | |
|---|--|
| ■　取り扱いに関して | |
|  | 警告 |
|  | ・ 本製品を重ねて設置しないでください 本製品を重ねて設置することで製品が加熱し、感電、火災などの発生、または本製品の誤作動、故障などの原因となる恐れがあります。 |
|  | ・ 湿気やほこりの多いところに保管しないでください 湿気やほこりの多いところに保管することで、感電、火災などの発生、または製品の誤作動、故障などの原因となる恐れがあります。 |

| | |
|---|---|
|  | 注意 |
|  | ・ 振動の多い場所や不安定な場所で本製品を使用しないでください 振動の多い場所や不安定な場所で本製品を使用することで、本製品の落下、誤作動、故障などの原因となる恐れがあります。 |
|  | ・ コネクタや取り付け部分には触れないでください 本製品は精密機器です。静電気の影響によって、製品の誤作動、故障などの原因となる恐れがあります。本製品を取り付ける際は、コネクタや取り付け部分に触れないよう注意してください。 |
|  | ・ 落下や衝撃を与えないでください 本製品に落下や衝撃を与えることで、感電、火災などの発生、または製品の誤作動、故障などの原因となる恐れがあります。 |
|  | ・ 定期的に点検やお手入れを行ってください 本製品を長期間動作させる場合は、動作状況や設置環境を定期的にご確認ください。 |


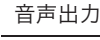


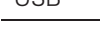
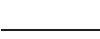

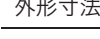

| | |
|---|---|
| ■　無線機器に関して | |
|  | 警告 |
|  | ・ 医療機関内でのご利用は各医療機関の案内および指示に従ってください 医療機関内の医療機器等を設置してある場所では、本製品の電源を切るか、無線機能を無効にしてください。本製品の電波出力は規定に従ったもので、各医療機器への影響は少ないですが、ご利用に関しては各医療機関の案内および指示に従ってください。詳しくは各医療機関へお問い合わせください。 |
|  | ・ 交通機関内でのご利用は各交通機関の案内および指示に従ってください 交通機関内では、本製品の電源を切るか、無線機能を無効にしてください。特に各航空会社については、航空機の飛行状況などによって、機内での電子機器や無線機器の利用を禁止しているため、本製品は機内で使用しないでください。詳しくは各交通機関へお問い合わせください。 |

| | |
|---|---|
|  | 注意 |
|  | ・ 電子レンジの近くで本製品を使用しないでください 電子レンジを使用するとき、電磁波の影響によって無線通信が妨害される恐れがあります。このため電子レンジ近くで本製品を使用しないでください。これは電磁妨害によって本製品の通信が途絶えたり速度が遅くなったりなどの動作が不安定になるのを防ぐためです。 |


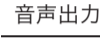


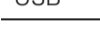

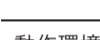
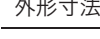

| | | | | |
|---|--|--------------------------------|--------------------------|-----|
| ■　電波に関して | | | | |
|  | 注意 | | | |
|  | ・ 2.4GHz帯無線LAN、Bluetoothについて 本製品が使用する2.4GHz帯の周波数帯では、電子レンジなどの産業・科学・医療機器のほか、工場の生産ラインなどで使用される移動体識別装置用の免許を要する構内無線局、アマチュア無線局、免許不要の特定小電力無線局などが運用されています。本製品を使用する前に、近くでこれらの無線局が運用されていないことを確認してください。万一、本製品とこれらの無線局との間に電波干渉が発生した場合は、速やかに本製品の使用チャンネルまたは使用場所を変更するか、本製品の無線機能を停止してください。その他、電波干渉の事例などお困りのことが起きた際は、販売店またはwiviaヘルプデスクへお問い合わせください。本製品の無線LAN機能を2.4GHz帯で使用する場合、干渉低減や周波数利用効率向上のため、チャンネル設定として1ch・6ch・11chのいずれかに設定することを推奨します。また、チャンネル帯域幅を40MHzまたは80MHzで使用する場合は、周囲の電波状況を確認して他の無線局に電波干渉を与えないことを事前に確認してください。万一、電波干渉が発生した場合は、取扱説明書を参照し、速やかにチャンネル帯域幅を20MHzに変更してください。 | | | |
|  | <table border="1"> <tbody><tr> <td>IEEE802.11b/g/n 2.4 DS/OF 4</td> <td>Bluetooth 2.4 FH/XX 4</td></tr> </tbody></table> | IEEE802.11b/g/n 2.4 DS/OF 4 | Bluetooth 2.4 FH/XX 4 | |
| IEEE802.11b/g/n 2.4 DS/OF 4 | Bluetooth 2.4 FH/XX 4 | | | |
|  | ・ 5GHz帯無線LANについて 本製品の5GHz帯無線LANの周波数帯のうち、W52・W53（36～64ch）は、電波法により屋外での使用が禁じられていますので、屋内でのみお使いください。また、W53・W56（52～140ch）は、法令により、各チャンネルの通信開始前に約1分間のレーダー波検出を行うため、その間は無線通信を行えません。また、通信中にレーダー波を検出した場合は自動的にチャンネルを変更するため、通信が中断されることがあります。 | | | |
|  | <table border="1"> <tbody><tr> <td>IEEE802.11a/n/ac W52</td> <td>W53</td> <td>W56</td></tr> </tbody></table> | IEEE802.11a/n/ac W52 | W53 | W56 |
| IEEE802.11a/n/ac W52 | W53 | W56 | | |

| |
|--|
| ■　無線LAN製品ご使用時におけるセキュリティについて |
| 無線LANでは、電波を利用して情報のやり取りを行うため、セキュリティに関する設定を行っていない場合、以下のような問題が発生する可能性があります。 |
| <ul style="list-style-type: none">通信内容を盗み見られる 悪意ある第三者が電波を故意に傍受し、IDやパスワード又はクレジットカード番号などの個人情報、メール内容などの通信内容を盗み見られる可能性があります。 不正に侵入される 悪意ある第三者が無断で個人や会社内のネットワークにアクセスし、個人情報や機密情報を取り出す（情報漏えい）、特定の人物になりすまして通信し不正な情報を流す（なりすまし）、傍受した通信内容を書き換えて発信する（改ざん）、コンピューターウイルスなどを流しデータやシステムを破壊する（破壊）などの行為をされる可能性があります。 |
| 本製品をご使用になる前に、取扱説明書のネットワークに関する設定の項目をよくお読みになり、セキュリティに関する適切な設定を行ってください。なお、無線LANの仕様上、特殊な方法によりセキュリティ設定が破られることもあり得ますので、ご理解の上、ご使用ください。セキュリティ対策を施さず、あるいは無線LANの仕様上やむを得ない事情によりセキュリティの問題が発生した場合、弊社ではこれによって生じた損害に対する責任を負いかねます。セキュリティの設定を行わないで使用した場合の問題を十分に理解した上で、お客様自身の判断と責任においてセキュリティに関する設定を行い、本製品を使用することをお奨めします。 |

| |
|--|
| ■　その他のお願い |
| <ul style="list-style-type: none">本製品は日本国内でご利用ください 本製品は日本の国内法のもとで利用可能な製品です。海外での利用は想定されていません。外国への持ち出し時に本製品の故障、または本製品に起因する事故が生じても、弊社はその責任を負いかねます。また、日本国内でご利用の際も、各地域の法令や政令などによって利用の禁止や制限がなされていないかご確認ください。 ご利用のコンピューターのデータのバックアップを取得してください 本製品のご利用に際しデータ消失などの障害が発生しても、弊社では保証いたしかねることをあらかじめご了承ください。 本製品の使用用途について 本製品を高い信頼性・安全性が必要とされる用途に使用される場合は、フェールセーフ設計や冗長設計などの措置を講じたくうえでご使用ください。また、人命に関わる装置や社会インフラなど、極めて高い信頼性・安全性が必要とされる用途には、本製品を使用しないでください。 異常（異臭や過度の発熱）に気づいた場合 故障や異常（異臭や過度の発熱）に気づいた場合は、ACアダプターを抜いてウチダヘルプデスクにご相談ください。 電波障害自主規制について この装置は、クラスA情報技術装置です。この装置を家庭環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。VCCI-A 廃棄方法について 本製品を廃棄するときは地方自治体の条例に従って処理してください。詳しくは各地方自治体にお問い合わせください。 |

| | |
|---|---|
| ■　本製品の仕様 | |
|  | HDMI 1.4b 解像度　最大1920×1080 30fps 自動検出（EDID） |
|  | HDMI（デジタル）、ステレオミニ（アナログ） |
|  | IEEE 802.11a/b/g/n/ac　2.4/5GHz（切換利用） 最大転送速度　2.4GHz: 300Mbps、5GHz: 867Mbps セキュリティ方式　WPA/WPA2-PSK（AES） |
|  | IEEE 802.3ab　10BASE-T/100BASE-TX/1000BASE-T 最大転送速度　10/100/1000Mbps（オートネゴシエーション） PoE規格　IEEE 802.3af PD |
|  | USB 2.0　ホスト機能　2ポート（操作機器・記憶媒体接続用） |
|  | ACアダプター　　入力 AC 100-240V 50-60Hz 最大0.7A 出力 DC 12V 2A PoE受電　　　　　DC 42.5-57V 0.35-0.26A |
|  | Windows 7 / 8.1 / 10、OS X 10.11 / macOS 10.12 iOS 9～10、Android 5～7 |
|  | 0～40℃ |
|  | 170 x 130 x 46 mm |
| | ※2017年5月現在の情報です。各仕様は予告なく変更する場合があります。 |

本製品の仕様

| | |
|---|---|
|  | HDMI 1.4b 解像度　最大1920×1080 30fps 自動検出（EDID） |
|  | HDMI（デジタル）、ステレオミニ（アナログ） |
|  | IEEE 802.11a/b/g/n/ac　2.4/5GHz（切換利用） 最大転送速度　2.4GHz: 300Mbps、5GHz: 867Mbps セキュリティ方式　WPA/WPA2-PSK（AES） |
|  | IEEE 802.3ab　10BASE-T/100BASE-TX/1000BASE-T 最大転送速度　10/100/1000Mbps（オートネゴシエーション） PoE規格　IEEE 802.3af PD |
|  | USB 2.0　ホスト機能　2ポート（操作機器・記憶媒体接続用） |
|  | ACアダプター　　入力 AC 100-240V 50-60Hz 最大0.7A 出力 DC 12V 2A PoE受電　　　　　DC 42.5-57V 0.35-0.26A |
|  | Windows 7 / 8.1 / 10、OS X 10.11 / macOS 10.12 iOS 9～10、Android 5～7 |
|  | 0～40℃ |
|  | 170 x 130 x 46 mm |
| | ※2017年5月現在の情報です。各仕様は予告なく変更する場合があります。 |

※2017年5月現在の情報です。各仕様は予告なく変更する場合があります。

ソフトウェア使用許諾契約書

本製品（以下「本体」という）およびその付属品のすべてと、本体に付属または内蔵されるソフトウェア（以下「本件ソフトウェア」という）をご使用の前に、必ず以下の条項をお読みください。弊社は、当該条項に同意される場合にのみ、お客様に本件ソフトウェアの使用を許諾しております。お客様が以下の条項にご同意のうえ、本件ソフトウェアを使用することにより、お客様と弊社との間で、本件ソフトウェアに関する使用許諾契約（以下「本契約」という）が締結され、発効するものとします。

| |
|---|
| 第1条　使用許諾 |
| 弊社は、お客様に対し、本件ソフトウェアの日本国内における非独占的かつ譲渡不能な使用権を許諾します。 |
| 第2条　複製・修正・改造等の禁止 |
| 本件ソフトウェアの用途は、本体とともに使用することのみとします。お客様が弊社に無断で本件ソフトウェアの機能を利用しない複製または本件ソフトウェアの修正・改造等を行うことは、著作権法に違反する物であり許されません。本件ソフトウェアの一部または全部を利用した新しいソフトウェアの開発もこの規定により禁止されます。また、本件ソフトウェアのリバースエンジニアリングを禁じるものとします。 |
| 第3条　知的財産権の帰属 |
| 本件ソフトウェアの著作権およびその他の知的財産権は、弊社および AWIND Inc. に帰属します。 |
| 第4条　契約の終了 |
| 弊社は、お客様が本契約に違反された場合には、いつでも本契約を終了することができます。 |
| 第5条　契約終了時の措置 |
| お客様は、理由の如何を問わず、本契約が終了した場合には、速やかに本件ソフトウェアを消去するものとします。このとき、お客様は、当該消去につき、第三者がこれを取得する可能性がないような状態とする責任を負うものとします。 |
| 第6条　免責 |
| 第1項　弊社は、お客様に対し、本件ソフトウェアの性能および機能がお客様の使用目的に合致していること、本件ソフトウェアに欠陥がないこと、およびその他本件ソフトウェアに関する一切の保証をいたしません。 |
| 第2項　弊社は、お客様が本件ソフトウェアを使用することまたは使用できなかったことから直接または間接に被った損害について、事由の如何を問わず、一切の責任を負いません。 |
| 第7条　輸出の規制 |
| 本件ソフトウェアおよび本体（以下これらを「本製品」という）は、日本国外での使用を想定しておりません。よって、外国への持ち出し時に本製品の故障または本製品に起因する事故が生じても、弊社はその責任を負いかねます。また、本製品を国外に持ち出す等輸出する場合、外国為替及び外国貿易法（その関連政省令等を含む）を順守するものとします。なお、お客様は、米国輸出管理法令等外国の輸出関連法規が適用される場合、それらの法規も遵守しなければなりません。 |
| 第8条　合意管轄 |
| 本契約の準拠法は日本法とし、紛争については、東京地方裁判所を第一審の専属的合意管轄裁判所とします。 |

| | |
|-------------|-------------|
| 株式会社 | 内田洋行 |
|-------------|-------------|

故障かな？と思ったら

| |
|---|
| <ul style="list-style-type: none">表示装置に何も表示されない HDMI ケーブルが正しく接続され、wivia 本体の LED インジケーターが青色に点灯していることをご確認ください。表示装置の電源・入力切換を確認し、wivia 本体に AC アダプター（PoE 給電の場合は LAN ケーブル）を挿し直してください。 アプリケーションをインストールできない アプリケーションのインストールは、管理者権限のあるユーザーで行う必要があります。wivia の Web 画面から実行ファイル形式のアプリケーションをダウンロードするか、USB メモリーに書き出したアプリケーションをお使いください。 端末からwiviaに接続できない wivia 本体の LED インジケーターが青色に点灯し、端末を wivia の無線 LAN または wivia と同じネットワークに接続したことをご確認ください。既存のネットワーク経由で接続していて、アプリケーションのリストに wivia が表示されない場合は、wivia の IP アドレスまたは機器名を入力して、リストに追加してください。 端末からwiviaに投影できない 複数のユーザーが同時に操作を行った場合などはエラーになることがあります。少し時間をおいて再度操作してください。アプリケーションから接続はできるが投影を開始できない場合は、wivia がカンファレンスコントロールモードに設定され、ユーザーによる投影操作がロックされています。ロックを解除するか、司会者としてログインして操作してください。 音声が出力されない 表示装置や音響機器の電源・音量を確認し、アプリケーションの音声ボタンがミュート状態でないことをご確認ください。なお、投影中のユーザーが複数いる場合は、全画面投影に切り換えてください。 画面投影が遅延したりコマ落ちする wivia はネットワークを介して画面データを転送するため、ネットワークの状況によっては、投影が遅延・コマ落ちしたり、停止することがあります。また、解像度の大きい画面や動画などのデータ量の大きい画面を投影している場合も、遅延やコマ落ちが発生しやすくなります。投影の正確性や安定性が重要な場合には、端末と表示装置を直接接続してください。 Web画面にアクセスできない 端末やブラウザのプロキシサーバーやセキュリティの設定によっては、Web 画面にアクセスできないことがあります。設定を一時的に変更して再度アクセスしてください。 |
|---|